

地球生命コースについて

地球生命コースは、修士課程・博士後期課程一貫プログラム(博士後期課程への進学を前提とした修士課程のプログラム)である。

受け入れ可能予定人数

各学年5名程度

教育研究支援金

地球生命コースにおいては、修士課程初年度から博士後期課程修了までの期間において、自立した生活ができる程度の教育研究支援金を給与として支給する(最大5年間・月額17万円程度)。

ただし、次に該当する者は対象から除く。

- 標準修業年限を超過している者(留学等特別な事情がある場合は個別に相談のこと)
- 日本学術振興会特別研究員、卓越大学院プログラム RA, 理化学研究所 JRA
- 奨学金等を受給している者のうち、当該奨学金等の制度が、他の奨学金・支援金の受給を制限している場合
- その他、地球生命コース主任が支援金の支給対象として適切でないと判断した者

※上記以外で質問等がある場合は、第1志望の指導教員へ相談してください。

選抜方式

地球惑星科学系

地球生命コースを履修するためにはA日程試験で合格する必要がある。地球生命コースを主担当とする教員(井田⁽¹⁾、関根、Hernlund、玄田)を第1志望とする者は、地球生命コース、地球惑星科学コースのいずれも履修を希望することができる。地球生命コースの履修を希望する場合には、出願者は出願の前に、第1志望の指導教員と予め相談してから出願し、その希望する理由を志望理由書に記載のこと。

生命理工学系

地球生命コースを主担当とする教員(松浦、藤島、McGlynn)を第一志望とする者は、地球生命コース、生命理工学コースのいずれも履修を希望することができる。地球生命コースの履修を希望する場合には、出願者は出願の前に、第1志望の指導教員と予め相談してから出願し、その希望する理由を志望理由書に記載のこと。学部および大学院入試の成績を総合的に判断し、必要に応じて、別途英語による選考会を実施し、本コースの履修の可否を決定する。選考会においては、博士後期課程への進学の意思の確認、専門的知識、英語力、学士論文研究等の内容及び修士課程での研究計画を中心とした試問を行う。

応用化学系

地球生命コースを主担当もしくは副担当とする教員(中村、大河内)を第一志望とする者は、地球生命コース、応用化学コースのいずれも履修を希望することができる。地球生命コースの履修を希望する場合には、出願者は出願の前に、第1志望の指導教員と予め相談してから出願し、その希望する理由を志望理由書に記載のこと。学部および大学院入試の成績を総合的に判断し、必要に応じて、別途英語による選考会を実施し、本コースの履修の可否を決定する。選考会においては、博士後期課程への進学の意思の確認、専門的知識、英語力、学士論文研究等の内容及び修士課程での研究計画を中心とした試問を行う。

(1) ただし、2024年度に関して、井田教員は地球惑星科学コースの学生のみ受け入れる。